

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	栄養教諭育成講習事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度・未定		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育職員免許法附則第18項		関係する計画、 通知等	・学校給食法改正附帯決議 (平成20年5月30日衆議院文部科学委員会) (平成20年6月10日参議院文教科学委員会) ・教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校における食育の推進の要である栄養教諭の配置が進むよう、現職の学校栄養職員が栄養教諭免許状を取得するための講習会を開催する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	栄養教諭の免許状を取得するためには、栄養に係る教育に関する科目などの単位を取得しなければならないが、学校栄養職員が働きながら通学等で単位を取得するのは困難である。このため、都道府県において夏休みなどに開設する単位取得のための認定講習会の開催に対して補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	5	5	1.5	1.4	1.4	
		繰越し等	△3	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	-	-
	執行額	2	5	1.5	1.4	1.4		
	執行率(%)	1	0.8	1.6				
50.0%	50.0%	16.0%	106.7%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	栄養教諭免許状取得者数		成果実績	人	9,097	9,350	9,516	9,800
			達成度	%	92.8%	95.4%	97.1%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	認定講習会受講者		活動実績 (当初見込み)	人	93 (265)	49 (105)	66 (185)	- (80)
単位当たり コスト	23,662(円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=1,561,745円(支出額)/66人(認定講習会参加者)				
平成25・26年度 予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費		0.1百万円	0.1百万円				
	初等中等教育等振興事業委託費		1.3百万円	1.3百万円				
	計		1.4百万円	1.4百万円				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、現職の学校栄養職員が円滑に栄養教諭免許状を取得できるよう講習会を開設し、食育の要である栄養教諭の配置を効果的に進めることで、食育推進基本計画に基づいた食育の推進を図る事業であり、国として実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。また、委嘱に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	講習会受講者数は、当初見込みを下回っているが、栄養教諭免許状取得者数は毎年増えており、成果目標に向かって着実に進展していると認められる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・講習会受講者数の当初見込みと活動実績に乖離が見られるため、翌年度の予算規模・事業内容については、各年度の執行状況等を踏まえ、より効率的・効果的なものとなるよう、十分に検討する必要がある。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:本事業は、学校給食の衛生管理の充実や学校給食の安全性の確保を図る事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、概ね計画通りに予算執行されているが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	本事業については、支出先の選定に当たって、一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保し、コストの削減に努めている。平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また、更なるコスト削減を図り、概算要求に▲0.01百万円反映した。				
備考					
○学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/169/f068_061001.pdf					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0109	平成23年	0333	平成24年	0349

文部科学省

1. 6百万円

都道府県における現職の学校栄養職員を対象とした栄養教諭免許状取得のための認定講習会(教職科目や、栄養に係る教育に関する科目の授業開講)の開催を支援する。

【公募・委託】

A.教育委員会(全5機関)

1. 6百万円

現職の学校栄養職員を対象とした栄養教諭免許状取得のための認定講習会を開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 静岡県教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略				
計		0.0	計		0.0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 栄養教諭育成講習事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県教育委員会	栄養教諭の免許認定講習会を静岡大学において開催。	0.6	委嘱	—
2	佐賀県教育委員会	栄養教諭の免許認定講習会を西九州大学において開催。	0.6	委嘱	—
3	秋田県教育委員会	栄養教諭の免許認定講習会を聖霊女子短期大学において開催。	0.2	委嘱	—
4	新潟県教育委員会	栄養教諭の免許認定講習会を新潟県立大学において開催。	0.1	委嘱	—
5	千葉県教育委員会	栄養教諭の免許認定講習会を千葉県立保健医療大学において開催。	0.1	委嘱	—